

やすらぎ

43号

平成28年9/1
二中地区市民委員会
文化・広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

チャレンジクラブの活動紹介

指導員 中島 宏

チャレンジクラブは、異年齢の小学生が年間を通じて、同じグループでさまざまな体験活動を行い、協調性や思いやりの心を育み、郷土「土浦」に対する理解と愛着を深めることを目的としています。



今年度は、真鍋小学校の四年生9名、五年生9名、六年生10名、土浦第二中学校の二年生2名、合計30名でスタートしました。

チャレンジクラブは、二中地区の市民委員会の青少年育成部の協力を得て、チャレンジクラブの三つの約束①いつも元気にあいさつします。②どんなときにも友だちを大切にします。③どんなことにも思いきってチャレンジします。が達成できるように取り組んでいきたいと思えます。

5月15日(日)の開講式には、チャレンジクラブ生30名と、羽生佐洪市民委員長をはじめ、真鍋小学校の江原保子校長、土浦第二中学校の齋藤浩一校長、子ども福祉課主査、青少年育成部員の皆さん、そしてたくさんの方のご出席をいただき、無事開講式を終えることができました。今年度は初めて保護者会を実施し、ご家庭のご協力をお願いしました。引き続き、服部定夫さんの指導で

バルーンアートを楽しく行いました。6月11日(土)には、さしま少年自然の家でのうどん作りと、近くにあるミュージアムパーク茨城県自然博物館の見学を実施してきました。

この一年間チャレンジクラブの活動を通して、子どもたちが大きく成長してくれていることを願っています。



筑波山登山



うどん作り

新館長紹介

二中地区公民館館長 浜田 衛



早朝、夏の登山のトレイニングを兼ね自転車で、約1時間弱走る。帰ると

シャワーを浴びデジタル版の新聞を読む。ゴミは出ないし気になる記事はスクラップ。スマホでいつでも読めるので便利。今、沢木耕太郎の連載小説「春に散る」が面白い。

本日は休館日。午前中は、畑の草刈りやジャガイモの収穫、トウモロコシやサトイモの追肥などを行う。段々と畑仕事が楽しみ。冷たいお茶を飲み、畑の隅の木陰でしばし読書。

午後は、是枝裕和監督の映画「海よりもまだ深く」を見に行く。特にドラマがあるわけではないが、主人公の別れた妻に未練たつぷりのダメ男ぶりが情けないけど切ない。

夜は、NHKBBSで俳優の火野正平が視聴者の心に残る風景を自転車で行く「ここから旅」がお気に入り。人生下り坂最高！

4月から、二中地区公民館の館長をしています。何かありましたら、声をかけて下さい。

市民委員会専門部事業 参加報告

合同視察研修 (3月13日)

『川越まつり会館』を見学

南川 幸之進

まつり会館内で

●エントランスホール：情報コーナーで川越まつりや山車の参加する全国の祭りの情報が自由に見られる。

●まつりに向かう路地：川越まつりの準備を川越唐棧とうせんの染め抜きで紹介し、まつりに携わる人々の思いを紹介。

●会所に集う：神と人、人と人が出会うまつり全体の指揮所であり、行きかう人々の会話が再現されている。

●山車展示ホール：実際に川越まつりで曳かれる華麗な幕や精巧な彫刻により飾られた豪華絢爛な山車の迫力を、間近で見られ、又お囃子の実演も行なわれる。

●大型スクリーン(6m×4m)：川越まつりの熱気と興奮が体験できる。

●まつりに参加する：天狐てんこ、ヒョッコのお面をのぞきこむと、舞子の視点から見た川越まつりの情景が広がる。

●写真コンクール：毎年、川越まつ

り写真コンクールを行い、入選作品を一年間展示している。

●視聴覚室：川越まつりの歴史と祭りへの様々な思いを映像で見ることが出来る。

川越まつり(川越氷川祭の山車行事)は、10月14日に氷川神社が執行する。360年の時代を超えて、「江戸天下祭」の様式を今に伝える(都市祭礼の極み)である。

「神幸祭」は慶安元年(1648年)に、当時の川越藩主、松平伊豆守信綱が氷川神社に神輿・獅子頭・太鼓を寄進し、祭礼を奨励したことが始まり。



慶安4年(1651年)から華麗な行列が氏子域の町々を巡行し、町衆も随行するようになった。この祭祀、祭礼が「川越まつり」の起源である。

当初の「神幸祭」は、氷川神社の

神輿行列が氏子の町々を渡御し、氏子域の10カ町が仮装行列などの練りものの附祭りぶらぶらで供奉していた。

元禄11年(1698年)10カ町の一つ、高沢町が江戸の祭礼に倣って、初めて当時の江戸祭礼の花形であった踊り屋台を披露した。

その後、江戸祭礼で山車が主役になったのを機に、天保15年(1844年)には10カ町の山車が氷川祭礼絵馬にも残されているように、すべて一本柱形式に統一され、勾欄こうらんの上に人形を乗せるようになった。江戸を結ぶ新河岸川の舟運が川越まつりを発展させた。

現代の祭礼儀式、しきたりも、文化・文政時代の申し合わせがルールと言われている。(公式サイトより) 二中地区では、八坂神社や鹿島神社の祭礼が毎年盛大に行われます。祭礼は、戦後70年失われた住民一人一人の連帯意識を取り戻すには、唯一のイベントであると思います。

福祉講座

『市民力を育む地域づくり』を聴講

福祉部 久松 けい子

2月28日、地域住民が相互に連携し、協力し合う明るいまちづくりを

進めるために、常磐大学コミュニティ振興学部の池田幸也教授にお願いして研修会を開催しました。

「これまでは、日常生活の中で自然に育まれた地域住民の関係も、現状は連携し協力してつくりあげていかなければならない。これが現代社会の大きな課題」と言っています。

このような課題解決のための手法を講義して頂きましたので、参考までに資料の一部を紹介します。

まちづくりが必要とされる理由

◇なぜ「まち」づくり？

すべての地域で
人間関係が都市化している
⇒人間関係の希薄化

行政だけで
できないことがある！
新たな関係・・・人と人の
つながりづくり

現代社会課題

少子化
高齢社会
家族の多様化
個別化する生活
経済的格差の拡大
⇒ 孤立化が進む社会

講義の最後に「人生で大切なものは：？」の問いかけがあり、参加者多数の答えは「健康」でした。その基盤は、地域の人々とのコミュニケーションが一番。多くの人々に出会い、お互い市民力を育むための場を設定し、地域づくりを進めて行こうと思えました。



同好会紹介

パドル体操同好会

斉藤 八重子

パドル体操は、台所にあるしゃもじの形をした運動補助具を使って行う健康体操です。音楽に合わせて準備体操をして、身体をほぐします。ストレッチ、ダンス、声を出して行う頭の体操やゲームなどユニークで楽しいエクササイズです。長い時間をかけて作り上げるダンスの振り付けは、覚えるのが大変ですが、講師の方がわかりやすい指導をしてくれるので、皆真剣に取り組みきちんと仕上げる事ができます。

日頃のストレス発散や運動不足の解消、心身のリフレッシュなどたくさんさんのメリットがあります。個人の体力に合わせ無理なく行うので若い方から年輩の方まで楽しめる、いつまでも健康で若々しい身体を保つ事ができます。



興味のある方は、一度体験してみませんか。

パン作り同好会

森田 よし子

講座終了後、同好会として発足し、その当時からベテラン会員の確固たる信念のもと、月1回木曜日に細々とパン作りをしております。普通のパン作り教室のように、すべての過程を教えて下さる先生はいませんが、会員同志の阿吽あうんの呼吸で焼き上げております。

発酵を待つ間、楽しみのひとつがおしゃべりです。生まれる迄気付かずにいた会員の子がもう中学生、幼稚園児だった子が大学生、また、流し台の下で、かくれんぼしていた子らが社会人となり、折りに触れ、その成長を見聞きできる話題で持ち切りです。

最近では、ベーコンフランス、明太子フランス、クロワッサン、さつま芋パン、くるみパン、焼きカレーパン、メロンパンなどを作りました。パン工場で作っているパンと違い、翌日は少し固くなってしましますが、味は、断然同好会のパンが美味しいと自負しております。

「タニタ食堂」視察研修

ふたば会 飯田 悦子

タニタの社員食堂の「ヘルシーで美味しくお腹一杯・栄養バランスが良い」という情報が一躍世の中に広がりました。

一人暮らしの人への食事サービスを月2回宅配している「ふたば会」としては、その献立に大変興味深いものがあり、試食会に25名で出かけてきました。

一汁三菜・野菜たっぷり・塩分3%前後・一食当たり500キロカロリ前後で、ヘルシーだけど満腹感のある料理が基本です。だしの効いた薄味で調理することを学びました。

場所は、東京都千代田区の丸の内ビルディング地下1階です。皆様も訪れてはいかがでしょうか。



日替り定食 800円

地域のお助け人

庄司 恒雄さん (真鍋六丁目)



庄司さんは平成15年から今日まで13年間、交通安全協会の一

員として無事故への願いを込めて「人とクルマ」を見守って来ました。特に忙しいのは春秋と年末の交通安全運動期間や土浦花火大会等で、「お巡りさん」のような格好で街頭指導に従事しています。

町内役員も兼務して多忙の日々ですが、住んでいる真鍋六丁目は学生等の若い人が多く道も狭いため、事故の危険が高いと心配されています。



今日もパトカーのような広報車で街宣活動の庄司さん、今後も元気で活躍して下さい。

※交通安全協会真鍋分会では、会員を募集しています。希望される方は二中地区公民館へ

前期公民館講座

5月27日～8月5日



☆元気はつらつカラオケ☆



☆使い勝手のよい小座布団をつくろう☆



☆癒しのアロマヨガ☆



☆楽しいフォークダンス☆

400年も前に生まれた歌舞伎。それは古くから代々伝えられ、現在も生きており、今日なお人を喜ばせ感動させる力と美しさを持っている最高の芸術である。

私は、歌舞伎を生で鑑賞したことがなく、以前から堅苦しく難しいものだという印象を持っていました。

しかし、初めに歌舞伎の衣装や音楽、舞台の仕組み、様々な魅力、演目のあらすじなどの解説を聴き、実

古典芸能に親しむ 歌舞伎編

篠崎 美樹



☆ハーモニカ☆

実際の演目ではイヤホンガイドを用いて鑑賞し、歌舞伎の魅力を十分に味わうことができました。

「えんじやうきんげんどうりやまきのめらひ卅三間堂棟由来」の主人公「お柳」は、何の罪もないのに法王の病氣平癒のために生贄いけにえになる哀れな女性（柳の精）ですが、柳の木が切られる音と共に苦しむところでは、「お柳」の苦しみとそれに耐えるけなげさに、涙があふれてきました。そして、大切な妻を失った夫の嘆き。母を慕う幼子。いつの世にも起こりうる愛する人との突然の別れを描いたストーリーを歌舞伎の世界は繊細に表現していました。

男性が女性を演じる女形「お柳」のどことなくもし出す寂しさや可愛らしさ。その仕草は、美しくしなやかで、とても感動的でした。

講座に参加させていただき、歌舞伎を身近に感じる事ができました。日本の文化を知る貴重な体験をすることができました。

ありがとうございました。



スポーツ健康部
バスハイキング事業
(6月29日)
霧降高原バスハイキングに参加して

浜田 衛

ハイキングの参加人数は、62名。心配された霧降高原の天気予報は、曇り。何とか雨に降られずにできることを願いながら、公民館を7時に出発した。土浦北ICから常磐道に乗り、友部JCで北関東道へ。途中壬生SAで休憩をとり、東北道から日光宇都宮道路へと高速道路をひた走り、9時30分に霧降高原キスゲ平園地に到着した。

レストハウスのある出発地点の標高は1345mで終点の小丸山展望台の標高は1582m。標高差は、237mに過ぎないが、見上げるとどこまでも果てしなく階段が空に続いているように見えた。長袖でもやや肌寒く感じてウインドブレーカーを着る。平成16年まではスキー場だった斜面に設置された階段を行くと1445段のほぼ直線だが、今回はロープで囲われた散策路コースをゆつくり登ることにする。登っていくうちに天候は曇りから霧雨に変わったがカッパを着るほどではなかった。3週間前の下見の時にはほ

んど咲いていなかったニッコウキスゲが霧の中にほんやりと見えた。おそらく今が見頃。散策路が終わったあたりで休憩する。これから先は階段のみとなる空中回廊に行く。集団は長く伸びて、先頭グループと後方グループに分かれ、リタイヤする人もチラホラと出てきている。

最後の階段は約600段あり途中ニッコウキスゲの群落している場所には展望デッキが設けられていた。3つ目の展望デッキを過ぎると終点は目の前である。登り終えて終点の展望台で休んでいると、後続がハアハアと息を切らせて登ってきた。展望台からは快晴なら東京スカイツリーや富士山が見えるらしい。しばらく霧の中の展望を楽しみ、帰りは階段をゆつくり下ることとする。ハイキング開始から約2時間、無事にレストハウスに到着しハイキングは終了した。



ニッコウキスゲ



まちづくりの
実践をたたえる表彰

「土浦市まちづくり市民会議」では明るく住みよい豊かなまちづくりを推進するため、市民憲章を制定しており、多大な功績をあげている個人や団体を表彰しています。今年度は、二中地区では次の方々が表彰されました。

●高橋 和興さん

(東真鍋町)

地区の防犯活動を20年続け、特に二中地区防犯パトロールの青色パトロールの巡回の指導的役割を行い、地域住民の安全に寄与しました。

●黒澤 裕次さん

(木田余東台二丁目)

環境美化・防犯活動を町内の住民のリーダー的存在として実施し、地域住民の模範として大変喜ばれ感謝されました。

●徳光 聡さん

(木田余東台五丁目)

奉仕・防犯活動として7年にわたる地域住民との連帯意識向上のため献身的に行動し、スポーツ及び防犯活動を通して若者を含めた連帯意識の向上に貢献しました。

中区子ども会育成会紹介

2

前回より3回にわたり、二中地区の子ども会育成会を順次紹介しています。(原稿はH28・7月にいただいたものです)

真鍋六丁目

会長 佐藤 寧子

私たち真鍋六丁目育成会では、町内皆様の協力をいただきながら、年に4回の廃品回収、バス旅行、ラジオ体操、お祭りの参加など、年間を通して様々な活動をしています。

5月はデイズニーシーへのバス旅行を参加者86名で楽しんでまいりました。毎年この行事を楽しみにしてください。家庭も多いのではないのでしょうか。天候にも恵まれ、笑顔でいっぱいの子どもの姿に癒された一日でした。



真鍋六丁目



東真鍋町

東真鍋育成会は、『東真鍋の子どもたちが仲良くなり、健全なところで成長していくことを目標として協力し合いながら、自主的に活動します』の決まりのもと、六年生を中心に、80名の子どもたちで活動しています。

東真鍋町

会長 小泉 仁奈

8月に行われる祭礼の準備やお囃子の練習も始まります。町内一丸となつて行われるお祭りは、終わった後の達成感も感じ、良い思い出となる事でしょう。今回育成会役員となり、子どもたちが町内の皆様方に守られている事を実感しています。気付かない所で住み良い町づくりの為の努力をされていることもわかり感謝しています。私たちは六丁目の伝統を守っていききたいと思っています。

活動します』の決まりのもと、六年生を中心に、80名の子どもたちで活動しています。

主に、新入生歓迎会や遠足、鹿島神社例大祭、市民体育祭、クリスマス会、六年生を送る会などの行事と、廃品回収や敬老の日のお手紙渡しなどの活動を行っています。

様々な活動を通して、子どもたちが多くの体験をしながら、子ども間だけでなく、地区の皆様との交流も深めております。

本年は例大祭当番町の年であり、育成会においても例年になく様々な経験ができる年でもあります。記念の年に、子どもたちにとってすばらしい思い出になるよう、育成会も一丸となって頑張りたいと思います。

西真鍋町

会長 荻原 孝子

西真鍋子ども会育成会は、保護者や地域の皆様と一緒に、子どもの健全育成を目的として活動しています。

年間の活動は、廃品回収を3回、日帰り旅行、鹿島神社祭礼への参加、おはやしの練習、敬老会への参加、クリスマス会、歓送迎会、通学路の旗当番です。第1回の廃品回収と日帰り旅行も怪我なく終了しました。



新着図書紹介

- 小泉今日子 書評集 小泉 今日子
- 嫌われる勇氣 岸見 一郎他
- 生きるための選択 パク・ヨンミン
- おやすみ、ロジャー カール・ヨハン
- ツバメ号とアマゾン号 上・下 A・ランサム
- バカラ 桐野 夏生
- 羊と鋼の森 宮下 奈都
- 君の隣をたべたい 住野 よる
- 世界の果てのごともたち 中脇 初枝
- 王とサーカス 米澤 穂信
- 朝が来る 辻村 深月
- ママがおぼけになっちゃった! のぶみ
- 一生リバウンドしない! 奇跡の3日 片づけ 石阪 京子
- 最貧困女子 鈴木 大介
- 戦場のコックたち 深緑 野分
- 流 ベニシアのハーブ便り V・スタンリー
- ユートピア 湊 かなえ
- 橋を渡る 吉田 修一
- てんきち母ちゃんの朝10分あるもの
- だけでほめられ弁当 井上 かなえ
- ラオスにいったい何があるというんですか 村上 春樹
- 結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる 藤田 達哉

西真鍋の特色としましては、9月の敬老の日に公民館にて、子どもたちがお祝いの獅子をふります。この行事は長年、大切に引き継がれてきた活動の一つです。子どもたちが安心して過ごせるのも地域の方々の支えがあつてこそです。皆様に感謝の気持ちを少しでもお伝え出来れば幸いです。



西真鍋町



真鍋新町

真鍋新町

会長 市川 寛子・田口 はな

平成28年度真鍋新町子ども育成会は、子ども会員35名、育成会員（保護者）21名で活動しています。

一年を通して、子どもたちの通学路安全確保の為に防犯パトロールを実施、定期的に行っている廃品回収では、資源の大切さを学びながら親子で回収活動をしています。他にも市民運動会、歩く会、レクリエーションと沢山の行事があります。

その中でも真鍋地区最大の祭礼である鹿島祭礼にむけ、今年から子ども

もたちがより楽しく参加出来るよう、真鍋新町青年会の方々の協力のもと獅子囃子の練習を始めました。子どもたちは自分たちだけでお囃子が出来る事を楽しみに、一所懸命練習しています。初めての試みなので、保護者も一丸となり、子どもたちの思い出に残るお祭りにする為頑張っています。

これからも、すべての行事に参加協力してくれる地域の方々への感謝を忘れず、交流を大切に、子どもたちを見守りながら活動していきたいと思えます。

木田余

会長 川島 直子

木田余子ども会育成会は、今年度、48世帯64名の子どもたちとその保護者により活動しています。



木田余

年間の活動・行事参加としては、2回の廃品回収、バス遠足、八坂神社祭礼、市民体育祭、クリスマス会などがあります。

今年度のバス遠足は、東京ディズニーシーへ行きました。天候にも恵まれ、親子73名の参加者は、思い思いに楽しい一日を過ごしました。

7月の終わりに行われる八坂神社祭礼には、木田余東台、木田余西台の子ども会育成会、また、地域の方々とも協力して積極的に参加しています。子どもたちは2週間にわたって太鼓練習を行い、祭礼当日は交替で山車に乗り、練習の成果を発揮してくれます。

これからも、子どもたちが楽しんで参加でき、子ども同士の間で親睦を深められるような活動を続けていきたいと思います。

- | | | | |
|------------------------|-----|-----|-----|
| 鹿の王 | 上・下 | 上橋 | 菜穂子 |
| 家日和 | | 奥田 | 英朗 |
| 我が家の問題 | | 奥田 | 英朗 |
| 我が家のヒミツ | | 奥田 | 英朗 |
| 二階の王 | | 名梁 | 和泉 |
| リバーズ | | 湊 | かなえ |
| 天空の蜂 | | 東野 | 圭吾 |
| ナオミとカナコ | | 奥田 | 英朗 |
| 考えない台所 | | 高木 | ゑみ |
| 人魚の眠る家 | | 東野 | 圭吾 |
| 永い言い訳 | | 西川 | 美和 |
| 僕は、そして僕たちはどう生きるか | | 梨木 | 香歩 |
| 神社の神様に聞いた天国に行ける人、行けない人 | | はづき | 虹映 |
| きみと地球を幸せにする方法 | | 植島 | 啓司 |
| かわいい折り紙オーナメント | | 山口 | 真 |
| 土井家の「一生もん」2品献立 | | 土井 | 善晴 |
| ひでこさんのたからもの。 | | つばた | 英子 |
| あしたも、こはるびより。 | | つばた | 英子 |
| 服を買っなら、捨てなさい | | 地曳 | いく子 |
| 下町ロケット2ガウディ計画 | | 池井戸 | 潤 |
| しばわんこの和の行事えほん | | 川浦 | 良枝 |
| おかんメール3 | | | |

(おかんメール制作委員会)

町内ウォッチング

真鍋一丁目

自前の公民館完成

これまで、真鍋一丁目公民館は建物を借用して利用してまいりましたが、東日本大震災により使用できなくなりました。このため、町内の皆さんには、会議や打ち合わせ等に中地区公民館を利用してもらうという不便をおかけしました。

このことから町内で公民館建設の機運が高まり、平成23年10月に公民館建設準備委員会が設立され、前地区長の山口卓三委員長の下、場



所・資金計画・設計について協議を行ないました。また、市の補助金を充てるため、市役所市民活動課との協議を重ねるとともに、町内会を法人化するための署名集めや、寄付金集め、土地の購入、建物の建設等町内全員の協力により、平成25年7月に町内住民待望の公民館が完成しました。建物は木造2階建て、8月の鹿島神社祭礼に間に合い大変喜ばれました。

現在は、町内の5つの団体の会議・打ち合わせの他、講習会や、高齢者による趣味の会などでも使用されております。

今後は、もっともっと多くの町内の皆様方に利用してもらえよう、また、大事に末永く使用できるように役員一同取り組んでまいりたいと存じます。(地区長 本橋 泰雄・記)

東都和

「ふれあい・いきいきサロン」

東都和「ふれあい・いきいきサロン」が誕生したのは、2年前の9月です。『みんなで作くり、みんなではぐくむ』歩いて行ける地域の集会所を会場として、誰でも気軽に参加できる「地域のたまり場」。参加者の交流を通して地域のつながりを深めることを目的としたみんなのサロンです。

毎月2回の定例会では、参加者の趣味特技を活かし、クラフトかご作り、かんたんおはぎ、更には草もちを作ってたべちゃおう！等様々な事に挑戦しています。そしてつきないおしゃべりをしながら皆でいただく



お茶も、格別においしいのです。さて、サロンの仲間づくりを担うイベントに、年2回の福祉バスでの小旅行があります。10月には第6回となる「ひたちなか海浜公園」への旅を予定しています。町内からの支援金もあり、なるべく個人の負担の少ない楽しい旅にしたいと思えます。

先日、いきいき出前講座のシルバリーハビリ体操を健康増進課の方のご指導のもと体験しました。好評で、お互いの健康づくりのため、これからも続ける事になりそうです。

誰でも自由に気軽に、そして元気に楽しく参加できる、そんな地域のたまり場になれたらいいと思います。(田中 智恵子・記)



編集後記

「地域のお助け人」のコーナーでは、ボランティアなどで活躍されている方を紹介しています。皆様の町内の「お助け人」をぜひご紹介ください。